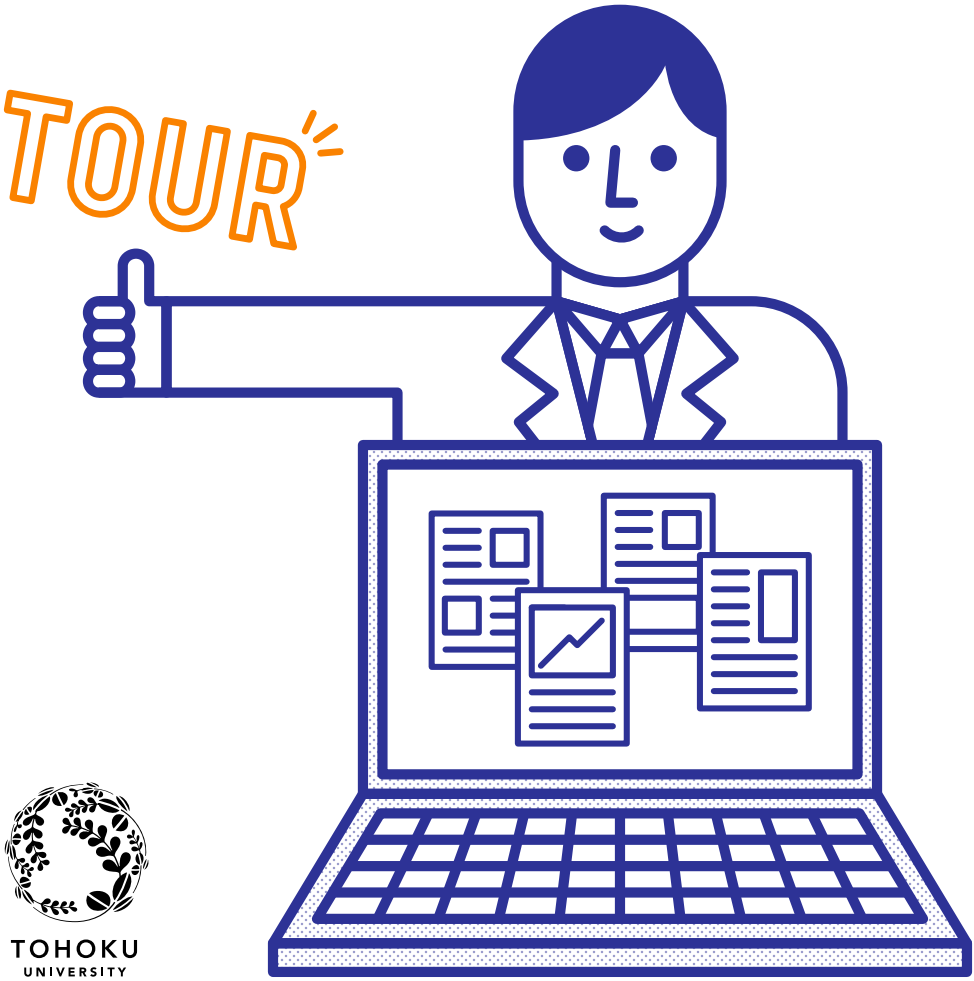
研究成果のオープンアクセス化は東北大学の使命です。



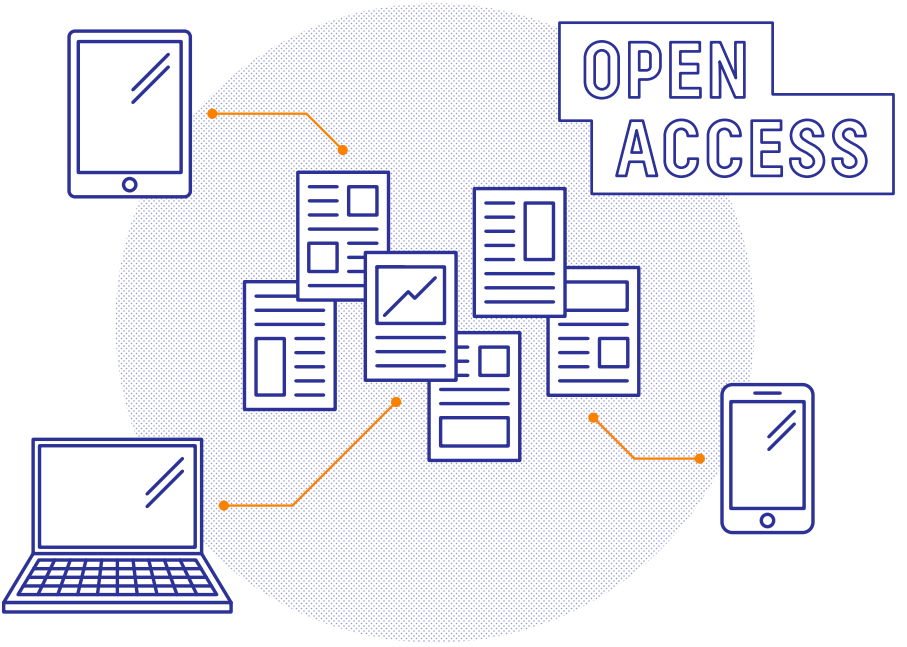
TOHOKU
UNIVERSITY

オープンアクセスとは

学術論文等をウェブ上に公開することで、誰もが無料でアクセスできるようにする仕組みです。研究成果の共有と再利用が進むことで、学際的な研究が生み出され、成果を社会に還元するという効果もあります。

オープンアクセス化のメリット

- □ インターネット上で全世界の人に無料で論文を読んでもらえる
- □ 論文が引用される可能性が高まる
- □ 研究成果を社会に還元することができる
- □ 異なる分野の研究成果に触れることで、研究の幅が広がる
- □ インターネットがつながれば自分の論文をいつでも確認できる



オープンアクセス化の方法

ここでは、自らの研究成果を本学の機関リポジトリ「TOUR」で公開する方法をご紹介します。

教員作業

STEP 1 著作権者への確認・許諾依頼

研究成果の著作権者を確認します。
著作権が出版社に譲渡されている場合は公開ポリシーを確認し、
譲渡されていない場合も著作権を持つ共著者や学協会等に対し、
所属機関リポジトリへの登録についての許諾をご依頼ください。
◎図書館にて上記作業の支援も可能です。お問い合わせください。

STEP 2 研究成果の体裁の整備（希望者のみ）

体裁を整えたい場合は、図書館で用意したテンプレートが利用できます。
論文本文の場合は、可能であればPDFにてご提出ください。

STEP 3 図書館へ登録依頼

『登録依頼書』と研究成果を担当係宛に送付してください。
登録データの容量に応じて、Googleドライブ等のURL共有も可能です。
提出版の後日の差し替えも可能です。

図書館作業

STEP 4 公開ポリシーの確認

出版社が定めたウェブ公開の指針により、
TOURに登録してもよい版や条件をあらためて確認します。

STEP 5 PDF化（必要な場合）

依頼者側でPDFデータが用意できない場合、同意のもと
図書館にて適宜登録用にデータをPDF化します。

STEP 6 TOURへ登録

STEP 7 依頼者へフィードバック（登録完了連絡等）

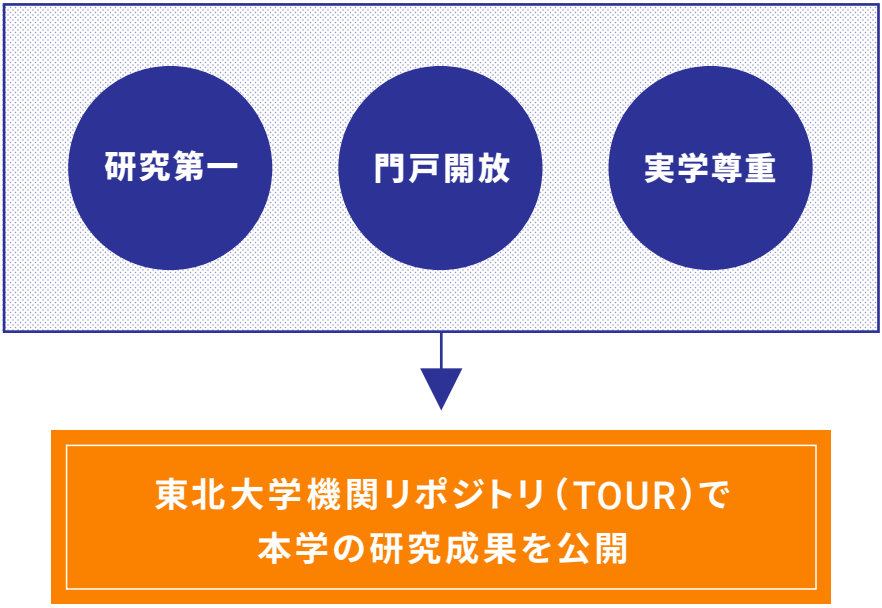
※ システムや運用等の変更により、上記についても適宜変更となる場合があります。

■このほか、学術雑誌投稿時に費用を払ってオープンアクセスにする方法があります。
本学では費用の割引制度などがあります。詳しくはウェブサイトをご確認ください。
https://www.library.tohoku.ac.jp/search/ejournal/apc.html

研究中心大学としてオープンアクセス化を推進

「研究中心大学」としての使命

東北大学の伝統である「研究第一主義」に基づき、真理の探究等を目指す基礎科学を推進するとともに、研究中心大学として人類と社会の発展に貢献するため、研究科と研究所等が一体となって、人間・社会、自然に関する広範な分野の研究を行う。それとともに、「実学尊重」の精神を活かした新たな知識・技術・価値の創造に努め、常に世界最高水準の研究成果を創出し、広く国内外に発信する。



人間社会の持続的発展に貢献

社会への「知」の波及

研究成果はTOURで公開

東北大学は「オープンアクセス方針」を採択しました

常勤の教員が東北大学情報データベース（大学情報DB）に登録した学術論文のうち、ウェブでの公開が可能なものをTOURで公開します。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

東北大学オープンアクセスに関するウェブサイトです。
→ https://www.library.tohoku.ac.jp/support/openaccess/

TOURとは?

TOURは、東北大学機関リポジトリ“TOhoku University Repository”の略で、本学の研究成果を収集し、広く公開するものです。TOURに登録した学術論文はGoogle等でも検索できるようになります。

→ https://tohoku.repo.nii.ac.jp

TOURには論文以外も登録できます

学術論文、紀要、博士論文、教材、学会発表資料、付属データ等

東北大学オープンアクセスに関するお問い合わせ

附属図書館 総務課学術情報基盤係
〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1
TEL: 022-795-5912　MAIL: tour@grp.tohoku.ac.jp

令和5(2023)年1月